

「かずさの森の核シェルター」構想 賛同者募集

1 今なぜ？（現状リスク）

- 戦後 70 年が経ち、制度疲労による**国際秩序の崩壊**が始まり、世界的戦争リスクの増大。
→南シナ海 ウクライナ シリア内戦 イスラム宗派対立、尖閣など。
- 核兵器、原発への**テロリスク**が増大している。→I S パリ集団テロなど。
- **北朝鮮による核暴発**の懸念。
- 安倍内閣による**集団安保体制に伴って戦争に巻き込まれるリスク**の増大。
- 人類は大量の核兵器を作り、**作った兵器は必ずいつか使う**。
- スイスでは核シェルターたいへん普及していて「**自分の身は自分で守ること**」が定着。

2 核シェルターを作るかずさの森とはこんなところ

- 所在地 千葉県君津市折木沢 1 3 6 7 県下一長流の小櫃川の源流部。
- 面積 約 5 0 h a 多様な生き物いっぱいの森。
- 誰一人住んでいない、人口密度ゼロの人工の汚染のない森。

3 森が生き延びる確率の高いわけは？

- 人が住んでいない森は相手から**攻撃対象になりにくい**。
- 森の樹木は**汚染浄化機能**を有している。
- **人類の故郷は森**であり、生きる上で不可欠な新鮮な空気、水、食料、住まい、エネルギーがあり、外部からの供給を受けなくて自給自足できる。

4 今、かずさの森にあって、自給自足しているもの。

- 空気 広大な森から、できたて酸素が供給されている。
- 水 飲用検査済み地下井戸水。林内に貯水池 4 か所、溪流 2 本流れています。
- 住 ログハウス（暖房用薪ストーブ完備）7 棟（床面積 3 5 0 平方）、水洗トイレ 3 か所、風呂 3 か所。→放射線量が少ない時、生活、滞在用に供します。
- 食 森、川、池から獲れた、獣肉、山菜、キノコ、魚類を冷凍、乾燥、塩蔵保存中。
お米は、水田で自給して、もみ殻貯蔵しています。
森に有機野菜園、果樹園、薬草、ハーブ園があり自給しています。
森にチャボ小屋があり、鳥を飼育しています。
- エネルギー 煮炊き、暖房用に森からの薪を利用しています。
太陽熱温水器 4 基（温水量 8 0 0 L）、簡易発電機 3 基、

5 **避難用 核シェルターはこんな風になる。**

- 地下に10人が一切外部との接触なしに2週間、避難、滞在できる空間整備。
- 地下に鉄筋コンクリートパネル製、10個室。
- 食料、水、医薬品備蓄庫、空気清浄装置、浄水装置、放射線防護服、放射線計測機、ガスマスク、寝袋等を備える。
- 電源確保のため、太陽光発電パネル、小水力発電を設置する。

6 **賛同、協賛者には、以下のことを保証します。**

- 危険を感じたら、核汚染の発生を予知したらいつでも避難滞在できます。
- **最長1年間**、避難滞在を保証します。
- 備蓄食料、水、等生存に不可欠品を**安心供給**が得られます。
- 避難、滞在中、かずさの森施設（野菜園、果樹、ハーブ園など）を**無制限、自由**に最長1年間使用できます。

7 **賛同、協賛者になるには？**

- 当方管理者と面会し納得の上、契約を交わします。
- 賛同、協賛費 お一人、1000万円 ご負担いただきます。
- 一度、賛同協賛者になられますと**終身**で行使できます。秘密厳守します。

8 **定員は？**

- **10名**様とさせていただきます。
- 見学、お試し滞在、質問は下記にどうぞ。

292-0404 千葉県君津市賀恵渕974

森林塾、かずさの森

担当 岩田和久 携帯 090-4005-1645

メールでのお問い合わせ info-kfs@kazusanomori.com